

Opening Message

地域に根差し、お客様に信頼して いただける企業風土の醸成に向けて

四国通建株式会社
代表取締役 阿部 健



『愛媛産には愛がある』、これは最近よく地元で聞かれる言葉です。愛媛の物産をPRするための地元を賛美したコピーですが、かつて、旧国鉄が観光PRを行ったとき、『青い国四国』と、四国とその自然を賛美したキャッチフレーズもありました。

地元民としては多少面映いのですが、こういう地元の良さや特色をアピールする言葉に親しみや共感を覚える心情は、多かれ少なかれ誰もが心の隅に持っているものだと思います。

当社は昭和20年11月、戦後の荒廃した今治市の一角で街の電気工事店としてスタートしました。その後、一般土木工事の施工を開始し、縁があって、当時の日本電信電話公社様から電気通信設備工事の仕事をさせていただくこととなり、今日に至っております。

創業当時から一番大切にされてきたことは、人と人とのつながりでした。地域の人とのご縁でこれらの仕事をさせていただく機会を与えていただき、今日の会社にさせていただきました。

一昔前、当社にご近所や知り合いの方々が、社長室などに誰に気兼ねすることなく、気楽に入ってこられるような会社でした。今でこそ、受付の許可無くして社内に入ることはできませんが、当時のセキュリティーは指紋認証ではなく、地元の方々と「人と

人」の結び付きでした。その身近な、目の前の方々が大切なお客様であり、地域に根差した企業活動を経営の原点としてやってきました。

私たちは、これまでいただいた数々のご芳情を忘れることなく、地元や地域を大切に思う心情に立ち、「地元の企業」として、今後も活動してまいります。地域と共に歩み、地域に育てられ、地域に貢献する企業として歴史を重ねてまいる所存です。

お客様からの信頼に対する考え方

以前からずっと、四国は、経済規模を表す言葉として「3%経済」と言われてきました。特に建設業の場合、公共工事に負うところが多く、近年の公共工事予算の削減は、多くの老舗建設業者の整理や撤退を余儀なくさせています。

そうした中、当社はNTT様からの電気通信設備工事を主力として、地域のトンネルや道路工事、建築や電気工事にも地道に取り組み、ここ数年の売上は、NTT様と、地元を中心とした自治体や一般企業様からの各種工事がそれぞれ約50%で、収益の両輪として経営が支えられています。

まさに、経営のフィールドはこの四国であり、

NTT様認定工事会社の中でも規模の小さい当社としては、NTT様をはじめ、この地域のお客様とのつながりや信頼なくして当社の存続はないと強く認識しております。

このようなお客様との信頼は、長い年月をかけた努力の積み重ねの上に成り立っていますが、不手際や不祥事が一度発生すれば、一瞬にして崩れ去る脆さも孕んでおり、私自身、あらゆる機会を通して、繰り返し、この危機感を全社員に伝えるようにしています。

戦国武将の武田信玄が「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」との言葉を残しています。勝敗を決する決め手は、堅固な城ではなく、人の力であるということをご承知の通りです。それは、正しく企業にも通じるところであろうと思います。個人の力や特徴を掴み、その才能を十分に発揮できるような会社にすることが大事であり、人には情理を尽くすこと、誠実な態度こそが相手の心に届き、人を惹きつけることに繋がります。逆に相手を恨めば必ず反発にあい、害意を抱くようになります。お客様や社会から信用・信頼していただける会社にするこそが肝要です。

みんなにそうあって欲しいとの想いを込め、当社の企業理念である、「お客様に感謝し、満足していただけるサービスの提供」、これに基づく9項目の行動指針を制定しています。各職場では、この精神が風化し

<行動指針>

1. 私達は、お客様に感謝し、親切、誠実に接します。
2. 私達は、お客様に常に最善の方法を提言します。
3. 私達は、お客様のどんな仕事にも全力で取り組みます。

ないよう、毎朝の朝礼などで唱和していますが、私自身が実践して、その姿を見せることこそが重要であると考えています。

NTT様に対する取組み

地元の大手建設会社も撤退を余儀なくされている近年の経済状況の中、NTT様からの発注は、当社の存続にとって非常にありがたく思っております。

これにお応えするため、当社は、新技術の速やかな普及展開や災害時等に機動力を発揮することにより、NTT様の安定的な通信サービス提供に貢献できるよう、可能な限り「直営施工体制」の維持を志向しています。本年度も新入社員を31名採用いたしました。

直営施工は、経営的に厳しい面もありますが、南海・東南海地震等によるBCPの重要性が叫ばれる中、台風銀座と言われている四国において、直営社員による機動的・献身的な対応が取れる体制を維持することが、「いざとなれば、四国通建」として、当社の存在価値を高め、NTT様のご信頼にお応えできるものと確信しております。

また、工事に関しては年々減少の傾向とはなっていますが、昨年度から本格的なアクセス保守協業も始まり、2015年までには一部エリアを除くほぼ全域での業務委託が予定されています。

工事と保守には親和性があると言われていますが、本格的な保守に関して、当社としては、まだ一步を踏み出したばかりの世界です。

団塊の世代の退職とともに急速に技術者の減少が進みつつありますが、人材の確保・育成を図りつつ、新たな分野にチャレンジし、NTT様に代わって、お客様サービス品質の維持・向上ができる体制構築に取り組む所存です。

自治体・一般企業に対する取組み

自治体や一般企業の信頼を得るには、地元との関わりをいかに多く持つかが大事と考えております。

当社においては、四国4県の各支店を含め、地域の活動に積極的に参加し、地域を良くする提案を積極的に行っています。

具体的には、国土交通省様が共催している「88クリーンウォーク四国」（毎年8月8日、市民ボランティアにより四国の道路を一斉清掃する取組み）は四県で同時実施しており、愛媛県主催の「愛ロード・愛ビーチ・愛リバー」（河川、海岸、道路の一定区間の清掃美化活動を自発的に行うボランティア団体等を愛



88クリーンウォーク（国道196号片山交差点付近）



愛ロード（今治市役所前道路照明）

護サポーターとして募集する公共土木施設愛護事業)にも積極的に参加しています。また、地元自治体への街創り提案など、地域社会の活性化につながる貢献を地域の皆様と協力して行うことにより、より多くの方々に当社の存在を知っていただく取組みも進めております。

さらに、昨年度の東日本大震災を契機に、四国においても南海・東南海地震に対する危機意識が高まっており、各自治体に対して、防災対策の一環として、防災行政無線、道路情報表示板、監視カメラ等の提案も行っており、防災および災害発生時の復旧の面でも、地元企業として貢献していきたいと考えております。

おわりに

リーマンショック、欧州危機、円高などによる景気低迷は、地域経済にも大きな影響を与えており、地元今治市においても主力産業の造船や海運に陰りが出るなど、その影響が広がりつつあります。

そのような逆風の中ではありますが、当社では事業の維持拡大を図るべく、今まで以上に建築工事や電気工事のエリア拡大を図り、受注増に繋げていきたいと考えています。

そのためには、お客様のご信頼をいただくことが不可欠であり、最も成果の期待できる方法でもあります。このマインドを企業風土としてさらなる醸成を図り、全社員一丸となり、より一層の浸透・定着を促進し社業発展に結び付けていく所存であります。